

# ANKOM TECHNOLOGY



**ANKOM**<sup>HCl</sup>  
加水分解システム

## 自動化された加水分解システムをご紹介します！

- 多量の加水分解処理。
- 最大15サンプルを同時に処理可能。
- 密閉された装置。
- コンピュータによる自動制御で、手動分析時のバラつきを排除。
- 複数回のすすぎ処理を自動化。

ANKOM<sup>HCl</sup> 加水分解システムは、油脂分分析における加水分解の簡便な方法をご提供します。省スペース設計されたANKOM<sup>HCl</sup> は1回に15サンプルのバッチ処理が可能です。フィルターバッグ技術を用い、総合的な油脂分の加水分解処理をシンプルにしました。テフロン製のベセル（釜）に最大15のサンプルを設置し、酸性溶液を加え、システムのディスプレイ表示に従って操作するだけです。プログラムの選択が完了したら、システムが自動的に処理を完了し、サンプルのすすぎを行います。



米国ANKOM Technology (アンコム・テクノロジー)社は、フィルターバッグ技術の開発元です。

検体試料をバッグに封入することにより、取扱いを容易にし、ほぼ完全に取扱いに起因するミスをなくします。また、操作時に、強酸性物が人体に触れる危険性が大幅に減少します。フィルターバッグをご利用になれば、自動化された装置内で試料をバッチ処理することにより、効率が格段に向上し、1日の処理可能試料数は劇的に増加します。さらに品質と精度の向上につながり、コスト削減につながります。

- 正確な結果
- 高い精度
- バッチ処理
- 手動エラーの排除
- コスト削減
- 高い効率

**ANKOM**  
TECHNOLOGY

Helping To Feed The World!

## 仕様

加水分解システム

<b>動作仕様</b>	
試料重量:	1.0 - 4.0 g *
油脂分範囲:	0% - 100%
1バッチ毎の試料数:	最大 15バグ
<b>所要時間:</b>	
加水分解 =	60 分
すすぎ (15分 x 2回) =	30 分
合計 =	90 分* *
* *乾燥時間は含みません	
<b>1日の試料処理数</b>	
加水分解 =	最大45サンプル
<b>装置仕様:</b>	
大きさ (幅 x 奥行 x 高さ)	279 x 432 x 610 mm
稼動温度	90°C
電源	100V, 50/60 Hz, 10A
重量	25 kg.



\*サンプルが2gを超える場合はXT4Lのフィルターバッグが必要です

米国ANKOM Technology社は、繊維および脂肪の分析において、世界中で利用されているフィルターバッグテクノロジー(FBT)の開発元です。ANKOMの製品は、85カ国以上にユーザーを持ち、その品質とイノベーションで高い評価を受けています。ANKOM社は、お客様のニーズに応えるため、常に時間のかかる分析方法を改善する技術/製品を、研究開発しています。三紳工業は、50年の研究機関向け機器製造・販売にて培った経験をもとにANKOM社製品の購入のご相談から、購入後のアフターケアまで、一貫したサービスを提供します。

**ANKOM**  
TECHNOLOGY

ANKOM Technology  
2052 O'Neil Rd.  
Macedon, NY 14502  
Web: www.ankom.com

**三紳工業株式会社**  
analyze more with SANSHIN.

〒222-0001  
横浜市港北区樽町2-12-1  
Tel: 045-531-7741 Fax: 045-531-9345  
メール: info@sanshinkogyo.co.jp  
Web: www.sanshinkogyo.co.jp